

助成：笹川平和財団「日本社会におけるイスラムの実像」事業

第26回 千葉大学移民難民スタディーズ研究会

×

第3回 ちば地域多文化共生円卓会議

外国につながる 高校生の就労支援

高校進学を果たした外国につながる子ども達が、自分の興味関心や能力に沿ってキャリア選択の可能性を切り拓いていくためには、一体どのような支援ができるだろうか。本研究会では、このような子ども達の就労支援に携わってきた3名の報告者を迎え、現状の在留資格や国籍条項による制限の有無、就職までに必要な手続き、資格取得を促す助成金や奨学金制度などの情報を提供する。そこから、参加者が共に機会としたい。

2024 1.28 SUN

13:30-15:00 (オンライン開催)

事前
予約必須

報告者

NPO 法人 glolab
理事

上村カルロス氏

NPO 法人 glolab
コーディネーター

城島サナ氏

NPO 法人ハイティーンズサポートちば
副理事長

三尾敬次氏

お申込先

<https://x.gd/rK7PG>

申し込み期限：1月26日(金)

お問合せ先

移民難民スタディーズ事務局

E-Mail : csmr.chiba@gmail.com

HP : <https://www.chiba-u.ac.jp/crsgc/csmr/>



研究会概要

高校進学を果たした外国につながる子どもたちは、在留資格等の制度的な障壁のほか、家庭の生活困窮や「ヤングケアラー」状態に陥るなど構造的な課題のなかで進路選択をせざるを得ない状況に置かれている。一方、進学や就職にあたっての様々な選択肢を子どもたち自身が知り、考える機会がないという課題もある。自分の興味関心はどこにあるのか、興味関心を深め自分の能力を生かせる場としてどのような進学先や就職先があるのか、自分たちの可能性やキャリア選択について考える機会やそれをサポートし得る情報、周囲の大人のかかわりが圧倒的に不足している現状がある。

そこで本研究会では、外国につながる子どもたちが自らの力を発揮し、キャリアを築いていくために必要な支援について議論を深めたい。特に、現状の在留資格や国籍条項による制限の有無、就職までに必要な手続き、資格取得を促す助成金や奨学金制度などの情報を共有することを通し、周囲の大人が外国につながる子どもたちの自発性や意欲を喚起しつつ、的確な情報を提供し、子どもたちのキャリア形成をサポートできるような知識と可能性を得られる機会としたい。

報告者

NPO 法人 glolab 理事

上村カルロス氏

ペルーで生まれ、中学校2年生で来日。経済的に困難な状況で、アルバイトしながら好きな仕事を見つけた。現在は日本とペルーの架け橋として旅行会社に勤務。また、ペルー人の仲間と NPO 法人 AMIGO PROJECT を立ち上げ、代表を務める。

NPO 法人 glolab コーディネーター

城島サナ氏

フィリピンの難民キャンプで生まれ、群馬で育ち、高校卒業後はニューヨークで社会福祉学を専攻。現在はキャリアコンサルタントとしての知識を活かしながら、企業・組織における個人のキャリア形成や能力開発の支援・プログラム企画と運営を専門的に行う。

NPO 法人ハイティーンズサポートちば 副理事長

三尾敬次氏

岩手県生まれ。千葉県立高校教員（社会科担当）時、外国につながる生徒の日本語学習支援、夜間定時制高校の給食存続等に取り組む。2020年定時制高校教員仲間と NPO 法人ハイティーンズサポートちばを立ち上げ、校内食品配布、居場所カフェの開設・運営、就労支援等を実施。22年より高校非常勤講師。